

2024 年度 教育課程編成・実施の方針に照らした教育の取組の適切性に関する検証

学科・研究科専攻名 リハビリテーション学科

作業療法学専攻

- ・分析対象の内訳：1年生 40名（90.9%）、2年生 5名（12.8%）、3年生 31名（79.5%）、4年生 29名（72.5%）。
- ・全体的な傾向・充足度合：今年度は臨床実習をはじめとする本来のカリキュラムを安定して継続できるようになったため、概ね学年が上がることに従い、学内教育および実習経験に応じた値となった。
- ・前年度との比較：今年度は2年生の回答率が極端に低い結果となったため、昨年度の全体平均との単純な比較はできないが、「基礎医学の知識」「臨床医学の知識」「作業療法の発展的理解」「臨床実習」「対象者中心」の項目で上回っていた。これは作業療法士として必要な基礎医学の知識や、作業療法の知識や技術、加えて臨床実習での学びによって得られた結果と推察する。一方で「豊かな教養」「総合的理解と研究的視点」で下回る結果となった。次年度に向けた課題としたい。

